

日本犯罪社会学会主催

2011年度(財)社会安全研究財団助成事業

後援団体：法務省・警察庁

第8回公開シンポジウム

現代日本の犯罪発生率の低さを理解する

開催日：2011年8月5日(金) 14:15~17:30

場 所：神戸国際会議室 301号室

同時通訳・一般公開・参加費無料・参加申込不要

会議趣旨

二次世界大戦後、先進諸外国は、犯罪発生率の継続的な高まりに苦勞する中、日本のみは、戦後の混乱期を脱した後も、むしろ犯罪発生率は低下した。また、罪種別にみれば、日本における重大犯罪罪種の発生率は諸外国と比較すれば桁違いに低い。これらのことを可能にしている要因を検討することは、文字通り世界の住民にとって有益な貢献となる。

パネリスト

「日本の犯罪発生率の低さについての諸説」 守山正氏/拓殖大学教授

「日本における強盗防犯の成功の原因」 河合幹雄氏/桐蔭横浜大学教授

「日本における犯罪者の再犯と刑事司法制度改革」 太田達也氏/慶応義塾大学教授

「日本における少年非行への対応」 鮎川潤氏/関西学院大学教授

「暴力団犯罪の実態と対応について」 貴志浩平氏/警察庁刑事局

司会進行

矢島正見氏/日本犯罪社会学会会長・中央大学教授

本シンポジウムは、一般公開ですので国際犯罪学会の参加登録を行わなくても聴講可能です。ご興味・ご関心のある方をお誘いの上、ご参加ください。なお後日報告書を発刊いたします。希望される方は、受付でお申し込み下さい。または、右実行委員会までお申し込み下さい。

(報告書[非売品]・送料無料)

公開シンポジウム実行委員会お問い合わせ先

〒225-8502

横浜市青葉区鉄町 1614

桐蔭横浜大学法学部河合幹雄研究室

TEL:045-974-5040

E-mail : ncskoukai@gmail.com